

国語科第一学年 年間指導計画 ※書写扱いも含みます

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	朝のリレー 野原はうたう 声を届ける／書き留める／ 言葉を調べる／続けてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組みについて理解し、音読に生かす。 ・表現の特徴について、自分の考えをもつことができる。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・日常生活の中からテーマを決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。
	シンシユン 情報を的確に聞き取る 季節のしおり 春 情報整理のレッスン わかりやすく説明する 漢字の組み立てと部首	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えることができる。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との違いを理解する。 ・比較や分類関係づけなどの情報の整理の仕方について理解する。 ・漢字の組み立てに興味をもつ。
	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 意見と根拠 話の構成を工夫しよう 漢字に親しもう 言葉のまとまりを考えよう 情報を集めよう／読み取ろう ／引用しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などを捉え、要旨を把握することができる。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ・言葉がもつ価値に気づくことができる。 ・単語の類別について理解することができる。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。
	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 指示する語句と接続する語句 もっと「伝わる」表現を目ざして 読書を楽しむ 本の中の中学生 季節のしおり 夏	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ・比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。
	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 聞き上手になろう 項目を立てて書こう 読み手の立場に立つ	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。 ・必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。 ・行事の案内や報告の文書を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。

	<p>方言と共通語 漢字の音訓 言葉をもつ鳥、シジュウカラ</p> <p>原因と結果 資料を引用してレポートを書く</p> <p>漢字に親しもう 話し合いの展開を捉える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共通語と方言の果たす役割について理解することができる。 ・漢字の読みには、「音」と「訓」があることを理解する。 ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 ・言葉がもつ価値に気づくことができる。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。
	<p>話題や展開を捉えて話し合おう</p> <p>音読を楽しもう 大阿蘇 季節のしおり 秋 いろは歌</p> <p>蓬萊の玉の枝</p> <p>今に生きる言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ・言葉がもつ価値に気づくことができる。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知ることができる。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。
後期	<p>「不便」の価値を見つめ直す</p> <p>助言を自分の文章に生かそう</p> <p>漢字に親しもう 言葉の関係を考えよう 本の世界を広げよう 季節のしおり 冬</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 ・根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見出すことができる。 ・言葉がもつ価値に気づくことができる。 ・単語の類別について理解することができる。 ・学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。
	<p>少年の日の思い出</p> <p>漢字に親しもう 単語の性質を見つけよう 随筆二編</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 ・言葉がもつ価値に気づくことができる。 ・単語の類別について理解することができる。 ・随筆を読み、考えたことなどを記録したり伝えあったりする。
	<p>体験を基に随筆を書く さまざまな表現技法</p> <p>漢字の成り立ち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆を書き、感じたことや考えたことを書く。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ・漢字の成り立ちについて理解する。
	<p>1年間の学びを振り返ろう</p> <p>さくらの はなびら 学習を振り返ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。 ・詩を読み、考えたことなどを伝え合う。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

国語科第二学年 年間指導計画 ※書写扱いも含みます

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	見えないだけ アイスプラネット 問いを立てながら聞く 季節のしおり 春	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などをとらえることができる。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。
	枕草子 情報整理のレッスン 多様な方法で情報を集めよう 熟語の構成 クマゼミ増加の原因を探る	<ul style="list-style-type: none"> ・現代語や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ・熟語の構成の種類について理解する。 ・話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。
	具体と抽象 魅力的な提案をしよう 漢字に親しもう 単語をどう分ける？ メディアを比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ・言葉がもつ価値を認識する。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。
	短歌に親しむ 言葉の力 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう 読書を親しむ 翻訳作品を読み比べよう 季節のしおり 夏	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ・類義語、対義語、多義語について理解する。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語等、同音異義語や多義的な意味を表す語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨くことができる。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。
	盆土産 字のない葉書 聞き上手になろう 表現を工夫して書こう 表現の効果を考える 敬語	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。

後期	<p>同じ訓・同じ音をもつ漢字</p> <p>モアイは語る</p> <p>根拠の吟味</p> <p>根拠の適切さを考えて書こう</p> <p>漢字に親しもう</p> <p>異なる立場から考える</p> <p>討論で多角的に検討する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、わが国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ・文章の構成や論理の展開について考えることができる。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解することができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、わが国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解することができる。
	<p>月夜の浜辺</p> <p>季節のしおり 秋</p> <p>平家物語</p> <p>扇的</p> <p>仁和寺にある法師</p> <p>漢詩の風景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の構成や表現の効果について考えることができる。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 ・観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。
	<p>「最後の晚餐」の新しさ</p> <p>魅力を効果的に伝えよう</p> <p>漢字に親しもう</p> <p>本の世界を広げよう</p> <p>季節のしおり 冬</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ・多様な考えがでる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、わが国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
	<p>走れメロス</p> <p>漢字に親しもう</p> <p>一字違いで大違い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 ・言葉がもつ価値を認識する。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。
	<p>構成や展開を工夫して書こう</p> <p>話し言葉と書き言葉</p> <p>送り仮名</p> <p>国語の学びを振り返ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。 ・言葉がもつ価値を認識する。 ・話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。
	<p>木</p> <p>学習を振り返ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

後期	漢字の造語力	・言葉がもつ価値を認識するとともに読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
	人工知能との未来	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。
	多角的に分析して書こう	・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。
	漢字に親しもう	・言葉がもつ価値を認識するとともに読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
	話し合いを効果的に進める	・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。
	合意形成に向けて話し合おう	
	音読を楽しもう 初恋	・詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。
	和歌の世界 季節のしおり 秋 君待つと 夏草	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。
古典名句・名言集	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。	
誰かの代わりに	・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	
グラフを基に小論文を書く	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	
漢字に親しもう	・言葉がもつ価値を認識するとともに読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
「ない」の違いがわからない？		
本の世界を広げよう		
温かいスープ	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	
わたしを束ねないで	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	
三年間の歩みを振り返ろう	・提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。	
漢字に親しもう	・言葉がもつ価値を認識するとともに読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。	
学習を振り返ろう	・表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。	

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

国語科第三学年 年間指導計画 ※書写扱いも含みます

前期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	世界はうつくしいと 握手 評価しながら書く 季節のしおり 春	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。
	学びて時に之を習ふ 情報の信頼性 修学旅行記を編集する 熟語の読み方 作られた「物語」を超えて	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。
	具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。
	俳句の可能性 言葉を選ぼう 和語・漢語・外来語 季節のしおり 夏 読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。
前期	挨拶 故郷 聞き上手になろう 論理の展開を整える 慣用句・ことわざ・故事成語	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 ・目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

社会科第一学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	歴史第1章 歴史へのとびら ・歴史をとらえる見方・考え方 ・身近な地域の歴史	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解できる。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりなどの技能を身に付けることができる。 ・身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けることができる。
	歴史第2章 古代までの日本 ・世界の古代文明と宗教のおこり ・日本列島の誕生と大陸との交流 ・古代国家の歩みと東アジア世界	・世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解できる。 ・律令国家に至るまでに、国家の仕組みが整えられ、その後天皇や貴族による政治が展開されたことを理解できる。 ・古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現できる。
	歴史第1章 地域の歴史を調べよう	・地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現できる。
	地理1編第1章 世界の姿	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置をもとに、世界の地域構成を理解できる。 ・世界の地域構成の特色を緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置をもとに、多面的・多角的に考察し表現できる。
	地理1編第2章 日本の姿	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化をもとに、日本の地域構成を理解できる。 ・日本の地域構成の特色を周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置をもとに、多面的・多角的に考察し表現できる。
	地理2編第1章 世界各地の人々の生活と環境	・人々の生活は、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、与えたりすることを理解できる。 ・世界の人々の生活や環境の多様性を理解できる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解できる。
後期	歴史第3章 中世の日本 ・武士の政権と成立 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・鎌倉幕府の成立などをもとに、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解できる。 ・中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現できる。
	地理2編第2章 世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	・世界の各州に暮らす人々の生活をもとに、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 ・各地域において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・世界の諸地域において、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究できる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

社会科第二学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	歴史第4章 近世の日本 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と対外政策 ・産業の発達と幕府政治の動き	・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田豊臣による統一事業と対外関係などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解できる。 ・江戸幕府の諸政策の目的に着目し、江戸幕府の成立と対外関係について、近世社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解できる。
	地理3編第1章 地域調査の手法	・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの技能を身に付けることができる。 ・地域調査において適切なまとめになるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現できる。
	地理3編第2章 日本の地域的特色と地域区分 ・地形からみた日本の特色 ・気候からみた日本の特色 ・自然災害と防災、減災への取り組み	・日本の地形や気候に関する特色を理解できる。 ・日本の地域的特色について、それぞれの地域の共通点や差異、分布などに着目させて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・地域の人々の生命や安全の確保させる日本の防災対策を理解できる。
後期	地理3編第2章 日本の地域的特色と地域区分 ・日本の人口、資源エネルギー、産業、交通通信からみた日本の特色 ・地域区分	・日本の人口問題、資源、交通に関する特色を理解できる。 ・日本の地域的特色について、それぞれの地域の共通点や差異、分布などに着目させて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求できる。
	地理3編第3章 日本の諸地域 ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	・いくつかに分けた日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 ・各地域において、中核となる事象が成り立つ背景を他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・日本の諸地域において、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究できる。
	地理3編第4章 地域の在り方	・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解できる。 ・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けることができる。
	歴史第5章 開国と近代日本の歩み ・欧米における近代化の発展 ・欧米の進出と日本の開国 ・明治維新 ・日清・日露戦争と近代産業	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどをもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できる。 ・開国とその影響をもとに、人々の生活が大きく変化したことを理解できる。 ・立憲国家の成立により、議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解できる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

社会科第三学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
	歴史第6章 二度の世界大戦と日本 ・第一次世界大戦と日本 ・大正デモクラシーの時代 ・世界恐慌と日本の中国侵略 ・第二次世界大戦と日本	・2つの世界大戦の背景をもとに、世界大戦前後の国際情勢と大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解できる。 ・2つの世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けることができる。
	歴史第7章 現代の日本と私たち ・戦後日本の出発 ・冷戦と日本の発展 ・新たな時代の日本と世界	・我が国の民主化と再建の過程をもとに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解できる。 ・冷戦下の国際社会、日本経済の発展について、多面的・多角的に考察し、表現できる。
	公民第1章 現代社会と私たち ・現代社会の特色と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方・考え方	・私たちの生きる現代社会での課題を理解できる。 ・私たちの生活においてなぜ文化が大切か、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・現代社会の課題を解決する見方・考え方を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けることができる。
	公民第2章 個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法	・憲法が現在に至るまで大切にされてきた背景や、憲法の基本原則を理解できる。
後期	公民第2章 個人の尊重と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障	・日本国憲法において人権保障が大切である背景や基本的人権の内容を理解できる。 ・新しい人権やグローバル化された人権について、多面的・多角的に考察し、表現できる。
	公民第3章 現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治と私たち	・民主政治における政治参加の重要性を背景に、選挙・政党・マスメディアの役割を理解できる。 ・三権分立の必要性を国会・内閣・裁判所の役割と相互に関連付けさせて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・地方自治を通して、私たちが政治参加する方法と課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けることができる。
	公民第4章 私たちの暮らしと経済 ・消費生活と市場経済 ・生産と労働 ・市場経済の仕組みと金融 ・財政と国民の福祉 ・これからの経済と社会	・消費活動で消費者の自立を求められる背景を理解できる。 ・生産活動と金融の働きを相互に関連付けさせて、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・現代社会における経済がもたらした課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けることができる。
	公民第5章 地球社会と私たち ・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本	・国際連合や地域主義の仕組みを理解できる。 ・持続可能な地球社会を創るための方法や課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けることができる。
	終章 よりよい社会を目指して	・持続可能な社会の実現に向けて、私たちができることを主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けることができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

数学科第一学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	0より小さい数 正の数・負の数で量を表すこと 絶対値と数の大小 正の数・負の数の加法、減法 加法と減法の混じった計算 正の数・負の数の乗法、除法 乗法と除法の混じった計算 いろいろな計算 数の世界のひろがりや四則計算 正の数・負の数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・負の数の意味と表し方を理解することができる。 ・正の数・負の数を数直線に表すことができる。 ・正の数・負の数の大小を、不等号を使って表すこと ・正の数・負の数をたす計算や引く計算ができる ・加法と減法の混じった計算ができる。 ・正の数をかけること、負の数をかけたりわったりすることができる。 ・除法を乗法に直すことができる。 ・四則を含む式の計算ができる。 ・数の概念を広げることができる。 ・具体的な場面で、正の数・負の数を用いて表現し、処理することができる。
	数量を文字で表すこと 文字式の表し方 式の値 文字式の加法、減法 文字式と数の乗法、除法 関係を表す式	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使って数量を式に表すことができる。 ・文字式の表し方にしたがって数量を式に表したり、どのような数量を表したりしているかを読み取ることができる。 ・文字の値がいろいろな場合の式の値を求めることができる。 ・項、係数、1次の項、一次式の意味を理解し、式を簡単にすることができる。 ・一次式と数の乗法や除法で解くことができる。 ・等式、不等式で表された数量の関係を読み取ることができる。
	方程式とその解 方程式の解き方 比と比例式 方程式の利用 比例式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 ・移項して方程式を解くことができる。 ・比例式の性質を知り、それを用いて比例式を解くことができる。 ・方程式を利用して、実際の問題を解くことができる。 ・比例式を利用して、実際の問題を解くことができる。
	関数 比例の式 座標	<ul style="list-style-type: none"> ・変数と関数の意味を理解し、関数のようすを、表やグラフで調べることができる。 ・比例定数の意味と比例の性質を理解することができる。 ・座標の意味を理解し、点を座標平面上に表すことができる。

後期	比例のグラフ 反比例の式 反比例のグラフ 比例、反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・比例のグラフの意味とかき方を理解し、特徴をつかむことができる。 ・反比例の関係を式に表すことができる。 ・反比例のグラフの意味とかき方理解し、特徴をつかむことができる。 ・比例や反比例の関係をを用いて、具体的な場面の問題を解決することができる。
	直線と図形 図形の移動 基本の作図 円とおうぎ形の性質 円とおうぎ形の計量	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の見方と図を正しくかくことの必要性を知るとともに、数学的な表現を用いて説明する。 ・3種類の移動を組み合わせて、どんな位置にでも移すことができる。 ・基本の作図の書き方を理解することができる。 ・円の性質と用語を理解することができる。 ・おうぎ形の性質を理解することができる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。
	いろいろな立体 空間内の平面と直線 立体のいろいろな見方 立体の表面積 立体の体積 球の計量	<ul style="list-style-type: none"> ・角柱や角錐、円柱、円錐の見取図や展開図を表すことができる。 ・線と線、線と平面、平面と平面の位置関係を表すことができる。 ・立体を平行移動や軸をもとに回転してできる立体を表すことができる。 ・角柱や角錐、円柱、円錐の表面積を求めることができる。 ・角柱や角錐、円柱、円錐の体積を求めることができる。 ・球の表面積と体積を求めることができる。
	度数分布 代表値と散らばり 調べたことをまとめ、発表しよう 起こりやすさと確率	<ul style="list-style-type: none"> ・度数分布表やヒストグラム、度数分布多角形、相対度数、累積度数、累積相対度数を用いて、資料の傾向をとらえ説明することができる。 ・資料の傾向を、どの代表値を用いてとらえたか、根拠も明らかにして説明することができる。 ・説明しあう活動を通して、友だちからの意見を聞き、課題設定から資料の傾向をとらえ説明するまでの一連の過程をふり返ったり、新たな課題を見いだしたりすることができる。 ・実験を通して確率の意味を考え、確率を定義することができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

数学科第二学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	式の加法、減法 いろいろな多項式の計算 単項式の乗法、除法 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同類項の意味を理解し、同類項をまとめることができる。 ・ 多項式の四則（加法・減法・乗法・除法）の計算ができる。 ・ 単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。 ・ 身のまわりの場面から数の性質を予想し、式の計算を利用して、その予想が成り立つ理由を説明することができる。
	連立方程式とその解 連立方程式の解き方 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二元一次方程式とその解の意味について理解できる。 ・ 文字の消去の意味を理解し、加減法、代入法を使って解くことができる。 ・ 身のまわりの場面から問題を設定し、連立方程式を利用して問題を解決することができる。
	一次関数 一次関数の値の変化 一次関数のグラフ 一次関数の式を求めること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事象の中にも一次関数としてとらえられることができる。 ・ 一次関数の値の変化を理解し、変化の割合を求めることができる。 ・ 一次関数 $y=ax+b$ のグラフの特徴をつかみ、グラフをかくことができる。 ・ 傾きと変化の割合との関係について理解できる。 ・ 式を求めるために必要な情報を見つけることができる。また、その式を求めることができる。
後期	方程式とグラフ 連立方程式とグラフ 一次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方程式のグラフを、2点を求めてかくことができる。 ・ 2直線の交点の座標を、連立方程式を用いて求めることができる。 ・ 身のまわりの場面から問題を設定し、一次関数を利用して問題を解決することができる。
	角と平行線 多角形の角 三角形の合同 証明とそのしくみ 証明の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対頂角、同位角、錯角の意味について理解できる。 ・ 多角形の内角の和や外角の和を計算で求めることができる。 ・ 三角形の合同条件を理解できる。 ・ 仮定と結論を導き、筋道を立てて説明する必要性をもつことができる。 ・ 三角形の合同条件を使って簡単な図形の性質を証明することができる。
	二等辺三角形 直角三角形の合同 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件 いろいろな四角形 平行線と面積 四角形の性質の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二等辺三角形の基本性質とその証明ができる。 ・ 定義、定理の違いについて理解できる。 ・ 直角三角形の合同条件を使って図形の性質を証明することができる。 ・ 平行四辺形の性質を理解し、証明することができる。 ・ 平行四辺形になるための条件を理解し、証明することができる。 ・ 長方形、ひし形、正方形の定義を理解することができる。 ・ 平行線による等積変形を利用して、同じ面積の三角形をみつけることができる。

<p>確率の求め方 いろいろな確率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な場合について確率を求めることができる。 ・樹形図、表などを用いて、起こりうる場合をもれや重なりがないように整理することができる。
<p>箱ひげ図 データを活用して、問題を解決しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四分位数や四分位範囲を求めたり、箱ひげ図に表したりすることができる。 ・箱ひげ図からその事象の傾向を読み取り、説明することができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

数学科第三学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	式の乗法、除法 乗法の公式 因数分解 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式と単項式の乗法や除法の計算ができる。 ・$(a+b)(c+d)$の形の式の展開ができる。 ・和と差の積の公式とこれを使った式の展開ができる。 ・和と差の積の公式を利用して因数分解することができる。 ・平方の公式を利用して因数分解することができる。 ・身のまわりの場面から数の性質を予想し、それが正しいことを式の計算を利用して証明することができる。
	平方根 平方根の値 有理数と無理数 真の値と近似値 根号をふくむ式の乗法、除法 根号をふくむ式の計算 平方根の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・根号や記号±を使って平方根を表すことができる。 ・限りなく続く小数で表される数があることを理解することができる。 ・小数と有理数・無理数の関係を区別することができる。 ・近似値、誤差、有効数字の意味を理解することができる。 ・$\sqrt{\quad}$の中を簡単な数にすることができる。 ・分母を有理化することができる。 ・$\sqrt{\quad}$をふくむ式の四則計算(加法・減法・乗法・除法)ができる。 ・身のまわりの場面から問題を設定し、平方根を利用して問題を解決することができる。
	二次方程式とその解き方 二次方程式の解の公式 二次方程式と因数分解 二次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式の様々な解き方について理解することができる。 ・解の公式を使って二次方程式を解くことができる。 ・因数分解を使って二次方程式を解くことができる。 ・身のまわりの場面から問題を設定し、二次方程式を利用して問題を解決することができる。
後期	関数 $y=ax^2$ 関数 $y=ax^2$ のグラフ 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 関数 $y=ax^2$ の変化の割合 関数 $y=ax^2$ の利用 いろいろな関数	<ul style="list-style-type: none"> ・y は x の2乗に比例するという見方をすることができる。 ・与えられた条件から $y=ax^2$ の式を求めることができる。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフと a の値との関係を理解することができる。 ・グラフから、関数 $y=ax^2$ の y の値の増減を求めることができる。 ・関数 $y=ax^2$ の変化の割合を求めることができる。 ・身のまわりの場面から問題を設定し、関数 $y=ax^2$ を利用して問題を解決することができる。 ・関数 $y=ax^2$ 以外の形でも、関数として認識することができる。
	相似な図形 三角形の相似条件 三角形の相似条件と証明 平行線と線分の比	<ul style="list-style-type: none"> ・相似とは何か理解し、相似な図形の性質とは何か理解することができる。 ・三角形の相似条件について理解することができる。 ・三角形の相似条件を使って図形の性質を証明することができる。 ・平行線にはさまれた線分の比を求めることができる。

<p>中点連結定理 相似な図形の面積</p> <p>相似な立体の表面積・体積</p> <p>相似の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平行線と線分の比を使った図形の性質の証明することができる。 ・中点連結定理を使った図形の性質の証明することができる。 ・相似な図形について、相似比と面積の比の関係を調べ、面積を求めることができる。 ・相似な立体について、相似比と表面積の比、体積の比の関係を調べることができる。 ・身のまわりの場面から問題を設定し、相似を利用して問題を解決することができる。
<p>円周角と中心角 円周角の定理の逆 円の性質の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角の関係が証明できることを知ることができる。 ・円周角の定理の逆について理解することができる。 ・身のまわりの場面から問題を設定し、円の性質を利用して問題を解決することができる。
<p>三平方の定理 三平方の定理の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2辺の長さがわかっている直角三角形の残りの辺の長さを求めることができる。 ・身のまわりの場面から問題を設定し、三平方の定理を利用して問題を解決することができる。
<p>標本調査の方法 母集団と標本の関係</p> <p>データを活用して、問題を解決しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の必要性とその意味を理解することができる。 ・標本の大きさが大きくなると、標本の性質が母集団の性質に近づくことを理解することができる。 ・標本調査の結果から起こり得る事象を推定することができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

理科第一学年 年間指導計画

時期	単元名	主な指導目標
前期	単元1 生物の世界 身近な生物の観察 植物のなかま どうぶつのなかま	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 ・いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。
	単元2 物質のすがた いろいろな物質 気体の発生と性質 物質の状態変化 水溶液	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた及び状態変化、水溶液のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。 ・身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。
後期	単元3 身近な物理現象 光の性質 音の性質 力のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する。 ・身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。
	単元4 大地の変化 火山 地震 地層 大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。 ・大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

理科第二学年 年間指導計画

時期	単元名	主な指導目標
前期	単元1 化学変化と原子・分子 物質の成り立ち いろいろな化学変化 化学変化と熱の出入り 化学変化と物質の質量	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち及び化学変化、化学変化と物質の質量のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。 ・化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。
	単元2 生物の体のつくりとはたらき 生物をつくる細胞 植物の体のつくりとはたらき 動物の体のつくりとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物や動物の体のつくりと働きのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する。 ・生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。
後期	単元3 電流とその利用 電流と回路 電流と磁界 電流の正体	<ul style="list-style-type: none"> ・電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する。 ・電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。
	単元4 気象のしくみと天気の変化 気象観測 気圧と風 天気の変化 日本の気象	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な気象の観察、実験などを通して、気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。 ・気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

理科第三学年 年間指導計画

時期	単元名	主な指導目標
前期	単元1 運動とエネルギー 力の合成と分解 水中の物体に加わる力 物体の運動 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、様々なエネルギーとその変換のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・運動とエネルギー、様々なエネルギーとその変換について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。 ・運動とエネルギー、様々なエネルギーとその変換に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。
	単元2 生命のつながり 生物の成長とふえ方 遺伝の規則性と遺伝子 生物の種類の多様性と進化	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。 ・生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。
	単元3 自然界のつながり 生物どうしのつながり 自然界を循環する物質	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然環境を調べる観察、実験などを行い、科学的に考察して、自然界のつり合いについて理解する。 ・自然界のつり合いに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。
後期	単元4 化学変化とイオン 水溶液とイオン 化学変化と電池 酸・アルカリとイオン	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン及び化学変化と電池のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。 ・化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。
	単元5 地球と宇宙 天体の一日の動き 月と惑星の運動 宇宙の中の地球	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転や太陽系と恒星のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結

		<p>果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。
	<p>単元6 地球の明るい未来のために 自然環境と人間 科学技術と人間 これからの私たちの暮らし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、エネルギーと物質及び自然環境の保全と科学技術の利用の在り方のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する。また、日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する。 ・自然と人間、科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るようになる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

音楽科第一学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	校歌 Well Find The Way その先へ My Voice	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。
	主人は冷たい土の中に	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。
	ジョーズのテーマ Let's Create!	・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。
	春	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲の演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	混声合唱曲 指揮をしてみよう	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。
後期	箏曲 さくら さくら 六段の調 雅楽 越天楽 ・	・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	魔王	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	リズムゲーム リズムアンサンブル リズムチャレンジ My Melody	・音のつながり方の特徴について理解するとともにそれらを生かした創作表現を創意工夫して音楽をつくる。
	日本の民謡 生活と社会の中の音楽 アジアの諸民族の音楽 ソーラン節	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。
	浜辺の歌 赤とんぼ	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。
	混声合唱曲 国歌 君が代	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 ・国歌の意義を理解し、自国だけでなく他国の国家も同様に尊重する意識を高める。

音楽科第二学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	My Voice! 夢の世界を	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
	フーガト短調	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	夏の思い出 荒城の月	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を、創意工夫して歌う。
	交響曲第5番ハ短調 指揮をしてみよう	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	混声合唱曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
後期	ギター アニーローリー ハッピーバースデー イトゥーユ	・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。
	アイダ	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	歌舞伎 勧進帳 長唄 勧進帳	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、多様な演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
	Let's Create	・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともにそれらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。
	My Melody	・音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。
	郷土の祭りや芸能	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	世界の諸民族の音楽	・諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさを味わって聴く。
	混声合唱曲	・音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともにそれらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
	国歌 君が代	・国歌の意義を理解し、自国だけでなく他国の国歌も同様に尊重する意識を高める。

音楽科第三学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	花 花の街 早春賦	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
	大地讃頌	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
	ブルタバ（モルダウ）	・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲の演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	混声合唱曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
	混声合唱曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
	後期	ギターアンサンブル 帰れソレントへ MyMelody
Let'sCreate		・曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対称などの構成上の特徴について理解するとともにそれらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。
能「羽衣」 「越天楽」		・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 ・我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
世界の諸民族の音楽 ポピュラー音楽		・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
大地讃頌 卒業の歌		・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かしたか歌唱表現を創意工夫して歌う。
国歌 君が代		・国歌の意義を理解し、自国だけでなく他国の国歌も同様に尊重する意識を高める。

美術科第一学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	＜オリエンテーション＞	・年間授業説明
	＜クロッキーデッサン＞	・クロッキーのねらいと方法を知る。 ・全体のバランスを考えて画面に取り組むことができる。 ・鉛筆の濃淡の生かし方を理解できる。
	＜レタリング＞ 文字の種類 文字の特徴 補助線の活用 トレースのやり方 色の特徴 筆の扱い方 アクリル絵の具の扱い方 作品鑑賞会	・文字の形の違いによって同じ言葉でも印象が変わることを理解することができる。 ・色を加えることでも印象が変わることに気付くことができる。 ・筆・絵の具の使い方をデモンストレーションを参考に実践しながら学ぶ。 ・筆の使い方一つでも塗った後の印象が異なることに気付くことができる。 ・色の効果、可能性など、絵の具セットで多様な幅の色を表せることを理解することができる。 ・自分らしい名前の形、色を探ることができる。 ・自分の作品の意図を発表することができ、他の作品の良さを感じることができる。
後期	＜拡大模型制作＞ スケッチ 構想の計画 紙粘土の扱い方 着色の方法 作品鑑賞会	・細部のつくりを細かく観察し、構造や微妙な色の变化、素材の違い、役割について考えることができる。 ・いつも見ている身近な文房具などの身度尺にあったかたちと色の巧みなあり方について考えることができる。
	＜浮世絵鑑賞＞ 版画の特徴、特性、良さ 表現の美しさ 構図の美しさ	・様々な美術作品に触れ、作品の良さを感じることができる。 ・様々な表現方法を知り、まとめることができる。
	＜切り絵＞ カッターの扱い方 構成の計画 白と黒のバランス	・安全な道具の扱い方を知り、扱うことができる。 ・光の美しさを生かしてデザインの構想を練ることができる。

美術科第二学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	＜オリエンテーション＞	・年間授業説明
	＜クロッキーデッサン＞	・クロッキーのねらいと方法を知る。 ・全体のバランスを考えて画面に取り組むことができる。 ・鉛筆の濃淡の生かし方を理解できる。
	＜サインボード制作＞ 色の印象 文字の特徴 マークの特徴・役割 文様の種類 構想の計画 彫刻刀の扱い方 ニス of 扱い方 作品鑑賞会	・サインやピクトグラムの効果について、またフォントの効果、色の対比、彫りの調子などに適した方法を理解する。 ・自分の必要なデザインを考え、描くことができる。 ・日本の文様について知り、デザインに取り入れることができる。 ・計画的に制作の計画を練ることができる。 ・彫刻刀の種類の違いを理解し、使い分けることができる。 ・鑢の番数の違いによる使用の仕方を理解することができる。 ・素材の良さ感じ、デザインに応じた着色方法を選択することができる。 ・自分や他者の作品のよさを感じ、発表することができる。
後期	＜鑑賞＞ 様々な美術作品について 構図の美、用途の美、色彩の美について	・様々な美術作品に触れ、作品の良さを感じることができる。 ・様々な表現方法を知り、まとめることができる。
	＜和菓子制作＞ 日本の美について 和菓子について 構想の計画 商品 PR 作品鑑賞会	・和菓子のテーマを設定し、デザインの構想を練ることができる ・粘土制作の技法を理解し制作ができる。 ・自らの作品の良いところ、工夫点を発表することができる。 ・自分や他者の作品のよさを感じ、発表することができる。

美術科第一学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	<オリエンテーション>	・年間授業説明
	<クロッキーデッサン>	・クロッキーのねらいと方法を知る。 ・全体のバランスを考えて画面に取り組むことができる。 ・鉛筆の濃淡の生かし方を理解できる。
	<レタリング> 文字の種類 文字の特徴 補助線の活用 トレースのやり方 色の特徴 筆の扱い方 アクリル絵の具の扱い方 作品鑑賞会	・文字の形の違いによって同じ言葉でも印象が変わることを理解することができる。 ・色を加えることでも印象が変わることに気付くことができる。 ・筆・絵の具の使い方をデモンストレーションを参考に実践しながら学ぶ。 ・筆の使い方一つでも塗った後の印象が異なることに気付くことができる。 ・色の効果、可能性など、絵の具セットで多様な幅の色を表せることを理解することができる。 ・自分らしい名前の形、色を探ることができる。 ・自分の作品の意図を発表することができ、他の作品の良さを感じることができる。
後期	<拡大模型制作> スケッチ 構想の計画 紙粘土の扱い方 着色の方法 作品鑑賞会	・細部のつくりを細かく観察し、構造や微妙な色の変化、素材の違い、役割について考えることができる。 ・いつも見ている身近な文房具などの身度尺にあったかたちと色の巧みなあり方について考えることができる。
	<浮世絵鑑賞> 版画の特徴、特性、良さ 表現の美しさ 構図の美しさ	・様々な美術作品に触れ、作品の良さを感じることができる。 ・様々な表現方法を知り、まとめることができる。
	<切り絵> カッターの扱い方 構成の計画 白と黒のバランス	・安全な道具の扱い方を知り、扱うことができる。 ・光の美しさを生かしてデザインの構想を練ることができる。

美術科第三学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	＜オリエンテーション＞	・年間授業説明
	＜クロッキーデッサン＞	<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキーのねらいと方法を知る。 ・全体のバランスを考えて画面に取り組むことができる。 ・鉛筆の濃淡の生かし方を理解できる。
	＜モザイク画＞ 色彩について 構想の計画 筆の扱いについて 作品鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・制作の手順を理解することができる。 ・ぶれの無い方眼の線を引くことができる。 ・絵の具の混色の割合を考えた色づくりができる。 (写真の色をもとにする) ・自分や他者の作品のよさを感じ、発表することができる。
後期	＜篆刻＞ 篆刻について 朱文、白文について 文字の種類 篆書体の特徴 印面のデザイン 柄のデザイン 転写 印刀の扱い方 用途の美について 用具の扱い方 作品鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオの鑑賞をして、制作の手順を把握することができる。 ・朱分、白文の違いを知り、自分の文字に応じたデザインを考えることができる。 ・印の大きさ、文字の数を考えたレイアウトをすることができる。 ・持ちやすいデザインを考え、構想を練ることができる。 ・手順をよく理解し、正確に転写を行うことができる。 ・用具を安全に使用することができる。 ・陰刻と陽刻の彫りの違いを理解することができる。 ・自分や他者の作品のよさを感じ、発表することができる。

保健体育科 一・二学年 年間指導計画

単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解するとともに、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができる。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技がよりよくできる。 ・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・器械運動の学習に積極的に取り組み、よい演技を認めることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認める。 ・健康や安全に気を配ることができる。
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解し、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ・動きなどの自己の課題を発見し合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・学習に積極的に取り組み、ルールやマナーを守ることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認める。 ・健康や安全に気を配ることができるようにする。
水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解し、泳法を身に付けることができるようにする。 ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・学習に積極的に取り組み、分担した役割を果たすことや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認める。 ・健康や水中の安全確保に気を配ることができる。
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的なボールや用具、バット操作と仲間と連携した動きで攻防を展開できるようにする。 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・学習に積極的に取り組み、作戦などについての話し合いに参加することや一人一人の違いに応じたプレイなどを認める。 ・健康や安全に気を配ることができるようにする。

<p>武道</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・武道の学習に積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。 ・禁じ技を用いないなど健康や安全に気を配ることができるようにすることが大切である。
<p>ダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。 ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 ・学習に積極的に取り組み、仲間の学習を援助することや一人一人の違いに応じた表現や役割を認める。 ・健康や安全に気を配ることができるようにする。
<p>体育理論</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解するとともに目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができる。
<p>健康な生活と疾病の予防</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の健康は、主体と環境が関わり合って成り立つこと、健康を保持増進し、疾病を予防するためには、それに関わる要因に対する適切な対策があることについて理解できる
<p>心身の機能の発達と心の健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達することについて理解できるようにする。
<p>傷害の防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の発生には様々な要因があり、それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること、応急手当は傷害の悪化を防止することができることを理解できるようにする。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

保健体育科 三学年 年間指導計画

単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組む。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができるようにする。 ・技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・器械運動の学習に自主的に取り組み、よい演技を讃えることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にする。 ・健康や安全を確保することができるようにする。
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・陸上競技の学習に自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にする。 ・健康や安全を確保する。
水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・学習に自主的に取り組み、自己の責任を果たすことや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にする。 ・健康や水中での安全を確保することができるようにする。
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 ・球技の学習に自主的に取り組み、作戦などについての話合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にする。 ・健康や安全を確保することができるようにする。

技術・家庭科（技術分野） 第一学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	ガイダンス 生活や社会における技術の役割を理解しよう。	4つの単元を理解し、3年間の技術の学習についての見通しをもつことができる。
	A 材料と加工の技術 1-1. 生活や社会と材料と加工の技術 ①身の回りにある材料と加工の技術 1-2. 材料を利用するための技術 ①材料の違い ②木材の性質 ③金属の性質 ④プラスチックの性質 ⑤構造と強度 ⑥製図 2-1. 問題解決の流れ ①設計 2-2. 製作のための技能 ①材料取りの方法 ②切断 ③切削 ④組み立てと仕上げ 3. これからの材料と加工の技術 ①材料と加工の技術と未来	・生活に生かされている材料と加工の技術について知り、原理について説明することができる。 ・木材・金属・プラスチックの性質を比較し、違いを説明できる。 ・木材の特性について説明することができる。 ・金属の特性について説明することができる。 ・プラスチックの特性について説明することができる。 ・構造による強度の違いについて理解し、選択ができる。 ・キャビネット図、第三角法による正投影図を理解し、製図することができる。 ・身の回りの生活の中から問題を見つけ、それらを解決するための製品について考え、設計することができる。 ・材料取りのための木取図について理解し、けがきすることができる。 ・両刃のこぎりによる正確な切削ができる。 ・鉋やベルトサンダによる正確な切削ができる。 ・釘による接合と木製品の仕上げについて正確にできる。 ・人類がより良く生きていくための材料と加工の技術に関して考えることができる。
	D 情報に関する技術 1-4. 情報セキュリティと情報モラル ①情報セキュリティ ②情報モラル ③情報にまつわる権利	・情報セキュリティの仕組みについて説明できる。 ・情報モラルに関して理解し、より良い選択ができる。 ・知的財産権等を理解し、説明できる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

技術・家庭科（技術分野） 第二学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	C エネルギー変換の技術 1-1. 生活や社会とエネルギー変換の技術 ①身の回りにおけるエネルギー変換の技術 1-2. エネルギー資源の利用 ①エネルギーについて ②エネルギー資源とその性質 ③発電と送電の仕組み ④エネルギー変換効率 1-3. 電気の利用 ①電気エネルギーの性質 ②電気回路と回路図 ③保守点検 1-4. 運動の利用 ①運動の変換 3. これからのエネルギー変換の技術 ①エネルギー変換と環境 2. エネルギー変換の技術による問題解決 ①エネルギー問題と解決	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおけるエネルギー変換の技術について知る。 ・エネルギーの性質について説明することができる。 ・エネルギー資源の種類と、メリットやデメリットについて説明できる。 ・発電の種類や仕組みと送電について理解し、説明できる。 ・エネルギー変換効率を計算することができる。 ・電気エネルギーの性質について理解し、説明できる。 ・電気回路や回路図について理解し、回路図から動作を読み取ることができる。 ・電子機器の安全な使い方を説明できる。 ・運動の変換の仕組みについて説明できる。 ・エネルギーの技術と環境の関係性について理解を深め、社会が目指すべき姿について考えることができる。 ・現在の日本や世界情勢とエネルギーの問題について思案し、解決するために必要な技術について考えることができる。
	D 情報に関する技術 1-1. 生活や社会を支える情報の技術 ①身の回りにおける情報に関する技術 1-2. 情報とコンピュータ ①コンピュータの構成 ②コンピュータの機能と装置 ③計測・制御 ④プログラミング ⑤情報のデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおける情報の技術について知る。 ・ハードウェアやソフトウェア、OSについて説明できる。 ・コンピュータの仕組みやそれを動かす装置について説明できる。 ・計測や制御の仕組みについて説明できる。 ・プログラムの構成の説明や、フローチャートの記述ができる。 ・デジタル情報の特性について説明できる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

技術・家庭科（技術分野） 第三学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
年間	C 生物育成の技術 1-1. 生活や社会の生物育成の技術 ①身の回りにおける生物育成の技術 1-2. 様々な生物育成の技術 ①作物の栽培 ②作物の育成環境 ③病気・害虫とその対策 ④動物の飼育 2-1. 生物育成の技術による問題解決 ①生物育成計画の立て方 3. これからの生物育成の技術 ①生物育成と環境 ②生物育成と経済	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおける生物育成の技術について知る。 ・作物の栽培における社会の目標について説明できる。 ・作物の栽培に必要な環境要因について説明できる。 ・作物の病気・害虫への対策について説明できる。 ・動物の飼育における社会の目標について説明できる。 ・栽培計画を立て、計画に沿った栽培を実行できる。 ・生物育成の技術から環境問題を考え解決するための方法について思考できる。 ・生物育成の技術から経済問題を考え解決するための方法について思考できる。
	D 情報の技術 1-3. 情報の表現と伝達 ①情報通信ネットワークの仕組み ②Webの仕組み情報の表現 2-1. 双方向性のあるコンテンツによる問題解決 ①メッセージ交換アプリの作成 3. これからの情報の技術 ①情報社会と技術革新 ②情報社会と権利	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信に関する技術について仕組みを説明できる。 ・Webの仕組みについて説明できる。 ・プログラミングによるメッセージ交換アプリの作成ができる。 ・情報の技術が生む技術革新について考察し、よりよい未来の構築について思考することができる。 ・情報社会と個人の尊厳について考え、人々が安心して情報を利用できる社会について思考することができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

技術・家庭（家庭分野）一学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
後期	ガイダンス 自立を目指して学ぼう A 家族・家庭生活 1. 自分の成長と家族・家庭生活 ①今の自分とこれまで ②わたしの生活と家族・家庭 ③家庭を支える社会 ④中学生にとっての家族	・小学校の振り返りをし、これからの家庭科の学習について見通しを立てることができる。 ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解できる。 ・自分や家族の生活は、様々な活動に支えられていることや、家族には互いの立場や役割があり、助け合っていく必要があることを気づく。
	B 衣食住の生活 1. 食事の役割と食習慣 ①食事の役割 ②健康によい食習慣 2. 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①中学生の発達と必要な栄養素 ②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 3. さまざまな食品とその選択 ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品の選択 ③食品の安全と情報 4. 日常の調理 ①調理の計画 ②おいしさと調理 ③ますます好きになる肉の調理 ④こんなにおいしい魚の調理 ⑤好きになる野菜の調理 5. 献立づくり 6. 持続可能な食生活	・日常の食生活を振り返ることを通して、食事が果たす役割について考え、理解することができる。 ・欠食や偏食を避け、バランスのよい食事をとることや、1日3食を規則正しくとることの重要性について理解できる。 ・身長や体重などの身体的発達の変化と食事摂取基準などから、中学生に必要な栄養の特徴について考えることができる。 ・食品の栄養的特徴とはたらきを理解し、食品を食品群に分類し、中学生の1日に必要な食品の種類と概量を把握することができる。 ・中学生に必要な栄養量を満たす1日の献立を立てることができる。 ・生鮮食品の特徴がわかり、目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 ・加工食品の特徴や表示の意味がわかり、目的に応じて食品を選ぶことができる。 ・安全で衛生的な調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・魚・肉・野菜の特徴や、調理上の取り扱い方がわかる。 ・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。
	C 消費生活・環境 7. 家庭生活と消費 ①消費生活のしくみ ②家庭生活における収入と支出 8. 購入・支払いと生活情報 ①いろいろな購入方法 ②購入前に知っておくこと ③いろいろな支払い方法 ④情報を活用した上手な購入	・消費生活の仕組みと、計画的な金銭管理の必要性がわかる。 ・購入方法や支払い方法の特徴、売買契約の仕組みについて理解することができる。
	9. 消費被害者と消費者の自立 ①なくなる消費者被害 ②消費者の権利と責任	・消費者被害の背景について理解し、対応について理解できる。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解することができる。

		・購入を通して、消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解することができる。
	10. 持続可能な社会	・自立した消費者として、課題解決に向けた一連の活動について、自分の考えをまとめ、表現することができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

技術・家庭（家庭分野） 二学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	B 衣食住の生活 1. 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化 ④上手な衣服の選択	・衣服と社会生活との関わりがわかり、自分らしい着方を工夫することができる。 ・和服の文化に関心を持ち、和服と洋服の構成の違いや和服の着方を知ることができる。 ・健康・快適で持続可能な衣生活を送ることについて、衣服の入手、既製服を選ぶ時の衣服計画を立てることができる。
	2. 日常着の手入れと保管 ①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 ④補修や収納・保管	・衣服の材料や状態に応じた日常の手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ・取り扱い絵表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択することができる。 ・衣服が傷んだら、傷みの状況に合わせた方法で衣服のアイロンがけや、収納・保管を適切に行うことができる。
	3. 生活を豊かにするものの製作 ①製作の基礎・基本 ②小物製作	・布を用いて生活を豊かにするものを考えることができる。 ・製作の基礎・基本を身に着けることができる。 ・布を用いて生活を豊かにするものを製作することができる。 ・衣生活の学習を振り返り、資源や環境に配慮した衣生活を過ごすための工夫ができる。
	4. 住まいのはたらきとこちよさ ①住まいのはたらき ②住まいの空間	・家族の生活と住空間との関わりを考えることを通して、住居は家族の安定した居場所であることを理解することができる。 ・家族がどのような生活を重視するかによって、住空間の使い方が異なることを理解することができる。
	5. 安全な住まいで安心な暮らし ①家庭内事故への備え ②災害への備え	・幼児や高齢者など、様々な年齢で構成される家族が、住居内で安全に生活できるように住空間を整える必要があることについて気付くことができる。 ・地域の様々な災害に備えて、室内を安全に整備する必要と、その方法について理解することができる。
	6. 持続可能な住生活	・持続可能な社会の実現に向けて、様々な住まいについて知ることができる。
	7. 地域の食文化 日本各地の郷土料理	・地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解することができる。 ・地元でとれる食材の調理を通して、地域の食文化が理解することができる。

※時期はあくまで目安なので学校行事の影響で前後することもあります。

技術・家庭（家庭分野） 三学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名	主な指導目標
前期	A 家族・家庭生活 1. 幼児の生活と家族 ① 幼児のころと今の自分 ② 幼児の体の発達 ③ 幼児の心の発達 ④ 発達にとっての大人の役割 ⑤ 遊びが必要なわけ ⑥ 遊びを支える環境	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解することができる。 ・自分や家族の生活は、様々な活動に支えられていることや、家族には互いの立場や役割があり、助け合っていく必要があることを気付くことができる。 ・幼児の言語・情緒・社会性などについて理解することができる。 ・幼児の成長を支える周りの大人の関わり方や役割について理解することができる。 ・遊びの意義について考えながら幼児に適したおもちゃを作ることができる。 ・幼児の遊び道具や、遊具の役割、遊びを支える環境について考え、幼児が主体的に遊ぶために必要なことを考えることができる。
	2. 幼児とのかかわり ① ふれ合い体験の前に ② ドキドキワクワクふれ合い体験 ③ ふれ合い体験は幼児からの贈り物 ④ 子どもの成長と地域	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児とのふれ合い体験について自分の課題をもち、ふれ合うときの注意点を理解することができる。 ・幼児との関わり方について、身に付けた基礎・基本的な知識を活用し、幼児に合わせて工夫することができる。 ・幼児とのふれあい体験を振り返り、幼児とよりよく関わる方法について、理解を深めることができる。
後期	3. 家庭生活と地域のかかわり ① 家庭生活と地域での活動 ② 多様な人びとが暮らす地域 ③ 地域に暮らす高齢者 ④ 高齢者とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長と地域のつながりについて理解できるとともに、どのように関わるとよいのかを考えることができる。 ・誰もが尊重される家族・地域の生活を目指して、課題を見つけ、実践的に取り組むことができる。
	4. 生活の課題と実践 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習を振り返り、これからの家庭生活について考えることができる。

※時期はあくまでも目安なので学校行事の影響で前後することもあります。

英語科第一学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	<p>Get Ready</p> <p>①ようこそ！ 未来中学校へ</p> <p>②未来中学校の仲間たち</p> <p>③新しい仲間インタビューしよう</p> <p>④自分のことを友だちに知ってもらおう</p> <p>アルファベットを確かめよう つづり字と発音</p>	<p>like / can / want to ~ / when, where の疑問文などを理解する。</p> <p>①Do you ~? / Can you ~? / I want to be ~., etc.</p> <p>②I'm ~. / You're ~. / I (don't) like ~. / I (can't) ~. / I want to go to ~., etc.</p> <p>③When is your birthday? Where are you from? What do you want to be?</p> <p>④上記①～③の内容</p> <p>アルファベットの形と発音を理解する。</p> <p>①アルファベットの文字と音 / ABC ソング ②フォニックスの基本</p>
	<p>辞書を引いてみよう</p> <p>1. 友だちを作ろう</p> <p>①対話: ~です。 / ~ではありません。 ②対話: ~ですか。 / 場所をたずねる。</p> <p>真央, 健, ダニエル, エミリーが新しいクラスで出会う。</p> <p>WW 数の言い方</p> <p>2. 1-Bの生徒たち</p> <p>①対話: 自分がすること [しないこと] 2つ以上のものを表現する。 ②対話: ~しますか。 / 時をたずねる。</p> <p>真央, ダニエル, エミリーが教室で自分の趣味について話す。</p>	<p>辞書の引き方を理解する。</p> <p>be 動詞 (肯定・否定・疑問) / where の疑問文を理解する。</p> <p>①I'm Ben. I'm not Ami. Oh, you are Ami.</p> <p>②Are you from the U.S.? Where are you from?</p> <p>数字, 年齢, 電話番号, 値段の言い方を理解する。</p> <p>一般動詞 (肯定・否定・疑問) / 複数形 / when の疑問文を理解する。</p> <p>①I have an apple for a snack. I don't like apples. I eat five bananas for a snack.</p> <p>②Do you often climb mountains? Yes, I do. When do you climb?</p>
	<p>WW2 曜日と天気の言い方</p> <p>St1 英語でやりとりしよう①</p> <p>アクションコーナー</p> <p>アクションカード①～⑩を使い, ~しなさい, ~してはいけませんを言う。</p> <p>3. タレントショーを開こう</p> <p>①対話: ~できる。 / ~できない。 ②対話: ~できますか。 / 何ができますか。</p> <p>健は自分ができることをアピールするタレントショーを開こうと提案する。ダニエルはアメリカのテレビで行われているタレントショーに出場したダンサーのエビケン (蛇名健一) の話をする。</p>	<p>曜日の歌, Sunday ~ Saturday</p> <p>Are you ~? / Do you ~? / when, where の疑問文を理解する。</p> <p>命令文を理解する。</p> <p>Play baseball. Don't [Do not] play baseball.</p> <p>can (肯定・否定・疑問) / what の疑問文を理解する。</p> <p>①I can make <i>sushi</i>. But I can't eat fish.</p> <p>②Can you cook? Yes, I can. What can you make?</p>

<p>St2 考えを整理し、表現しよう</p> <p>OP1 あなたの知らない私</p> <p>自己紹介</p> <p>①モデルを確認し、スピーチの構想を練る。</p> <p>②メモをもとに発表できるようにイメージをし ながら、スピーチ発表のためのメモを作る。</p> <p>③協働学習で助言、本番の練習。</p> <p>④本番のスピーチ発表、評価、振り返り。</p> <p>PU1 ハンバーガーショップへ行こう</p> <p>4 Let's Enjoy Japanese Culture.</p> <p>①対話：これ [あれ] は～です (か)。</p> <p>②対話：彼 [彼女] は～です (か)。 人の名前をたずねる。</p> <p>書道の授業で、墨についてダニエルに教える真央。さらに百人一首についても教える。</p> <p>PU2 持ち主をたずねよう</p> <p>5 The Junior Safety Patrol</p> <p>①対話：ほかの人がすること [しないこと]</p> <p>②対話：ほかの人がすることをたずねる。</p> <p>アメリカでは生徒たち自身で登校中の安全を指導する Junior Safety Patrol があることを紹介するダニエル。そして、真央と健はダニエルの家に遊びに行く。</p> <p>WW3 季節・月の名前</p>	<p>マッピングの使用 (これまでの復習)</p> <p>Can I have ~? / How much ~? This is ~. That is ~. (肯定・否定・疑問) / 代名詞 / who の疑問文を理解する。</p> <p>①Is that a bird? No, it isn't. This is a drone.</p> <p>②Who is that woman? She is an android, Chihira Aiko.</p> <p>Which ~? / Whose ~?</p> <p>三人称・単数・現在 (肯定・否定・疑問) を理解する。</p> <p>①My grandmother makes my lunch for me. She cooks very well. But she doesn't make breakfast.</p> <p>②Does your grandfather make breakfast? Yes, he does.</p> <p>春夏秋冬, January ~ December</p>
<p>6 The Way to School</p> <p>①対話：人について「～を、に」</p> <p>②対話：理由についての Q&A</p> <p>エミリーが映画『世界の果ての通学路』について調べているところに健がやってくる。2人は映画に出ているケニアの少年ジャクソンについて話す。</p> <p>PU3 道案内をしよう① (駅ビル)</p> <p>PU4 店内放送を聞こう</p> <p>WW4 順番・日付の言い方</p> <p>7 Research on Australia</p> <p>①対話：～がいる [ある]。</p> <p>②対話：手段・方法についてたずねる。</p> <p>エミリーは健にオーストラリアの世界遺産や動物について話す。そこに真央がやってきて、2人でオーストラリアのクリスマスについて話す。</p> <p>St3 話の組み立て方を考えよう</p>	<p>疑問文 him, her / why の, Because ~. を理解する。</p> <p>①This is my friend Paul. I know him. Oh, Sue! I like her.</p> <p>②Why do you like Sue? Because she is always kind to me</p> <p>Where is ~? / Turn right, and ~. などを理解する。</p> <p>放送を聞いて、商品の特長を聞き取る。</p> <p>序数を理解する</p> <p>There is [are] ~. / how の疑問文を理解する。</p> <p>①Oh, there is a <i>sushi</i> restaurant over there.</p> <p>②How can we go there?</p> <p>スピーチの構成を理解する。</p>

<p>St4 英語でやりとりしよう②</p> <p>WW5 疑問詞のまとめ</p>	<p>Is this [that / he / she] ~? / Does he [she] ~? などを理解する。</p> <p>5W1H を使った疑問文を理解する。</p>
<p>OP2 この人を知っていますか</p> <p>他人紹介</p> <p>①モデルを確認し、スピーチの構想を練る。</p> <p>②メモをもとに発表できるようにイメージをしながら、スピーチ発表のためのメモを作る。</p> <p>③協働学習で助言、本番の練習。</p> <p>④本番のスピーチ発表、評価、振り返り。</p> <p>PU5 インタビューを聞こう</p> <p>8 The Year-End Events</p> <p>①対話：今、～しています [していません]。</p> <p>②対話：今、(何を)～していますか。</p> <p>St5 絵や写真を英語で表現しよう</p>	<p>(これまでの復習)</p> <p>ドラえもんへのインタビューを聞き取る。</p> <p>現在進行形 (肯定・否定・疑問) を理解する。</p> <p>①I'm studying now. I'm not doing anything now.</p> <p>②Are you really studying, Ben? What are you doing?</p> <p>インフォメーションギャップ</p>
<p>9 A Trip to Finland</p> <p>①対話：過去にしたことを言う。(規則動詞)</p> <p>②対話：過去にしたことを言う。(不規則動詞)</p> <p>③対話：過去にしたことをたずねる。 過去にしなかったことを言う。 冬休みに旅行でフィンランドに行った美希が、家に遊びに来たダニエルと健にオーロラ、サウナ、サルミアッキ、極夜などについて話している。</p>	<p>一般動詞の過去形 (肯定・疑問・否定) を理解する。</p> <p>①I stayed home, watched TV all day. No, I worked a little. I cleaned my room too.</p> <p>②I had a good time yesterday. I ate an ice cream, and I won another one.</p> <p>③Did you eat two ice creams? Yes, I did. So I didn't eat dessert last night.</p>
<p>St6 文の内容を整理し、表現しよう</p> <p>10 Grandma Baba's Warming Ideas!</p> <p>①対話：過去の状態について話す。</p> <p>②対話：過去の状態についてたずねる。 過去の状態を否定する。</p> <p>③対話：過去のあるときにしていたこと</p> <p>ばばあちゃんと寒がりの動物たちがそりに乗って遊び、ぼかぼかに温まる物語。</p> <p>St7 英語でやりとりしよう③</p>	<p>PROGRAM 9 の内容を図表で整理する。</p> <p>be 動詞の過去形 / 過去進行形 (肯定・疑問・否定) を理解する。</p> <p>①I was a student at this time. You were very cute.</p> <p>②Were you tired? I wasn't so busy today.</p> <p>③Were you studying? I was reading a textbook.</p> <p>Are [Were] you (watching) ~? / Did you ~? などを理解する。</p>
<p>OP3 私が選んだ1枚 picture description</p> <p>PU6 絵はがきを書こう</p>	<p>(これまでの復習)</p> <p>手紙の書き方を理解する。</p>

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

英語科第二学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	<p>辞書を読んでみよう</p> <p>1 Start of a New School Year</p> <p>①対話：予定や計画を言える。 ②対話：これからすることを言える。 ③メール文：～のとき…。 / もし～ならば…。</p> <p>カナダに引っ越すことになった美希のために、真央たちはお別れ会を計画し、実行する。美希はダニエルに感謝のメールを送る。</p>	<p>辞書に書かれている情報について確認する。</p> <p>未来表現 / 接続詞 when / if を理解する。</p> <p>①I'm going to have a concert with Joe next Sunday. Is he going to sing? ②I'll answer it. It'll be dark soon. ③When you called me, I was in the yard. If you're free today, can you come to our concert?</p>
	<p>St1 情報をつながりながらメモをとろう</p> <p>2 Leave Only Footprints</p> <p>①対話：考えを言える。 ②対話：義務や命令について言える。 ③対話：必要性について言える。</p> <p>カナダの学校に通い始めた美希は友だちのトムにハイキングに誘われ、トムのおじと3人でバンフ国立公園を訪れる。</p> <p>PU1 天気予報を聞こう</p> <p>PU2 電話をかけよう</p> <p>WW1 スープの材料</p>	<p>マッピングでメモをとる。</p> <p>接続詞 that / must / have [has] to を理解する。</p> <p>①I think (that) it's too early. I don't think I'll hear the phone. ②We must pick it up. You mustn't pick it. ③We have to hurry. We don't have to.</p> <p>カナダの天気予報を聞く。</p> <p>英語で電話をかける。</p> <p>野菜、肉、調味料などの言い方を理解する。</p>
	<p>3 Taste of Culture</p> <p>①対話：自分のしたいことを言う。 ②対話：動作について言う。 ③発表：行動の目的を言う。 / ～するための…</p> <p>地域の祭りに来た真央たちは屋台料理について話す。ニューヨークの屋台料理について知り、オランダのハーリングについて調べて発表する。</p> <p>St2 文章の構成を考えよう</p>	<p>〈to+動詞の原形〉（不定詞） / 〈動詞の-ing形〉（動名詞）を理解する。</p> <p>①I want to see your performance. ②I enjoy dancing every day. Please stop talking about it. ③I'll go to New York to study dance. I have a lot of things to do.</p> <p>スピーチの構成を理解する。</p>
	<p>「夢の旅行」を企画しよう</p> <p>グループプレゼンテーション</p> <p>①モデルを確認し、グループで企画を練る。 ②チャットを通して、企画を洗練する。 ③本番の練習、協働学習で助言。 ④発表、評価、振り返り。</p> <p>R1 Gon, the Little Fox</p> <p>WW2 いろいろな形容詞</p>	<p>（これまでの復習）</p> <p>Reading（復習）</p> <p>cheap⇔expensive など対義語の形容詞を理解する。</p>

	<p>4 High-Tech Nature</p> <p>①対話：2つのものを比べる表現 ②対話：3つ以上のものを比べる表現 ③発表：同じ程度のものを比べる表現 エミリーは父から、ハスの葉効果を利用したヨーグルトのふた、カワセミの形状を取り入れた新幹線の話を書く。ハチのロボットについて調べて発表する。</p> <p>WW3 楽器の名前</p>	<p>比較級 / 最上級 / as~as...を理解する。</p> <p>①The gray one is cuter than the yellow one. But it's more expensive than the yellow one. ②I feel June is the longest month of the year. I think it's the most wonderful month. ③I think this cup is as big as hers. Also, it's not as heavy as hers.</p> <p>オーケストラなどで使われる楽器を知る。</p>
	<p>5 Work Experience</p> <p>①対話：～の仕方 ②対話：様子・状態を言う。 ③発表：～に...を一する。 ダニエル、真央、健の3人は職場体験で経験したことについて話す。</p> <p>PU3 レストランで食事をしよう</p>	<p>how to ~ / 〈look+形容詞〉 〈become+名詞 [形容詞]〉 / 〈主語+動詞+人+もの〉を理解する。</p> <p>①I don't know how to do it. ②You look tired. You'll become a good runner. ③I'll show you my score.</p> <p>入店から注文までのやり取りを理解する。</p>
	<p>6 Live Life in True Harmony</p> <p>①対話：～される。 ②対話：～によって...された [されましたか]。 ③説明文：～に知られている。 健はスティービー・ワンダーの曲や彼が音楽に込めた思いについて知る。</p> <p>St3 会話をつなげ、深めよう</p>	<p>受け身を理解する。</p> <p>①I think fresh cream is used. It's made in Hokkaido. ②It was built by Ashikaga Yoshimitsu. Was Ginkakuji temple built by him too? ③Shirakawa-go is known to people around the world. All the houses are covered with snow.</p> <p>相づち、疑問詞を使った疑問文などを理解する。</p>
後期	<p>OP5 こんな人になりたい ポスター発表 ①モデルを確認し、グループで企画を練る。 ②チャットを通して、企画を洗練、原稿を書く。 ③協働学習で助言、ポスターの完成。 ④全グループのポスターを読む、評価、振り返り。</p> <p>R2 Friendship beyond Time and Borders</p> <p>WW4 いろいろな前置詞</p>	<p>(これまでの復習)</p> <p>Reading (復習)</p> <p>位置を表す前置詞を理解する。</p>
	<p>7 A Gateway to Japan</p> <p>①対話：～してしまった。(完了) ②対話：もう～してしまいましたか。 / まだ～していない。(完了) ③発表：～したことがある [ない]。(継続) 真央たちは、日本のポップカルチャーが世界に与えてきた影響について知る。</p> <p>St4 相手にわかりやすい説明をしよう</p>	<p>現在完了 (完了, 経験) を理解する。</p> <p>①I've already read it. I've just started reading it. ②Have you taken a bath yet? No, I haven't. I haven't packed my bags yet. ③I've never seen Mt. Fuji. Have you ever climbed Mt. Fuji? I've climbed it twice.</p> <p>相手が未知のものについて説明する手法を理解する。</p>

<p>PU4 空港アナウンスを聞こう</p> <p>8 A Hope for Lasting Peace</p> <p>①対話：ずっと～している。（継続）</p> <p>②説明文：ずっと～続けている。</p> <p>説明文：なし</p> <p>St5 説得力のある主張をしよう</p> <p>PU5 メールで近況報告をしよう</p>	<p>便名、行先、状況を正確に聞き取る。</p> <p>現在完了（継続） / 現在完了進行形を理解する。</p> <p>①I've practiced it since I was ten. How long have you been a black belt?</p> <p>②We've been waiting for half an hour. 客観的な事実や具体的な理由とともに主張する。</p> <p>事実に対して感想や意見をそえてメールを書く。</p>
<p>OP6 この1年で得た「宝もの」自己PR</p> <p>①モデルを確認し、構想を練る。</p> <p>②本番の練習、協働学習で助言。</p> <p>③発表、評価、ポスター文集作り。</p> <p>④ポスター文集を完成させる。</p> <p>WW5 町の風景</p> <p>R3 Visas of Hope</p>	<p>（これまでの復習）</p> <p>身の回りの施設などの言い方を理解する。</p> <p>Reading（復習）</p>

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。

英語科第三学年 年間指導計画

時期	単元名・教材名・言語活動	主な指導目標
前期	<p>辞書を使いこなそう</p> <p>1 Bentos Are Interesting!</p> <p>①対話：～に…するように頼む。 ②対話：…するのは～である。 ③説明文：感情の原因や具体内容を言う。</p> <p>お花見にやってきた真央といとこのビルは日本の弁当文化について話す。翌日、真央はインドの弁当配達サービスについてのブログを見つける。</p> <p>WW1 家の中と外</p>	<p>句動詞の引き方を理解する。</p> <p>ask [tell / want] ～(人) to... / It is ～ (for+人) to... / 主語+be 動詞+形容詞+that ～. を理解する。</p> <p>①Mr. Oka told us to write a speech. ②It's difficult for me to read <i>kanji</i>. ③I'm afraid that it will rain.</p> <p>家具、設備、衣服などの言い方を理解する。</p>
	<p>St1 ディベートをしよう</p> <p>2 Good Night. Sleep Tight.</p> <p>①対話：どのように～するか知っている。 ②対話：何を～すべきか…に教える。 ③説明文：～だと…に教える。</p> <p>学校で眠そうにしている健に、ミラー先生が睡眠の大切さとよく眠るコツについて話す。その晩、ミラー先生はスマートフォンと眠りの関係、昼寝を取り入れている会社があることが書かれている記事を見つける。</p> <p>PU1 道案内をしよう② (電車の乗りかえ)</p>	<p>ディベートの流れと意見の主張の仕方を理解する。</p> <p>主語+動詞+(人)+疑問詞節 / 主語+動詞+人など+that ～. を理解する。</p> <p>①I can't remember where I put it. ②Can you tell me where she is? ③He told me that he would take it to the teachers' office.</p> <p>Could you tell me how to get to ～?</p>
	<p>3 A Hot Sport Today</p> <p>①対話：～を…と呼ぶ。 ②説明文：～を…にする。 ③メール文：～を [に] …させる。</p> <p>真央とダニエルがバスケットボールについて話す。ダニエルはバスケットボールの歴史について知り、カナダにいる美希にメールを書く。</p> <p>St2 メモのとり方を学ぼう</p> <p>OP7 記者会見を開こう</p> <p>記者会見</p> <p>①モデルを確認する。 ②構想を練り、発表のためのメモを作る。 ③本番の練習、協働学習で助言。 ④発表、評価、振り返り。</p>	<p>主語+動詞+目的語+補語(名詞 / 形容詞) / 主語+動詞+目的語+動詞の原形を理解する。</p> <p>①Please call me Alex. ②The warm weather makes me sleepy. ③Hot milk makes you sleep well.</p> <p>5W1Hを意識しながらメモをとる。</p> <p>(これまでの復習)</p>

	<p>R1 Faithful Elephants</p> <p>PU2 不良品を交換しよう</p> <p>4 Sign Languages, Not Just Gestures!</p> <p>①対話：～している…。</p> <p>②対話：～された…。</p> <p>③対話：なし</p> <p>動画を見て ASL（アメリカ手話）に興味を持った真央はいろいろ調べる。また、ASL の表現の仕方についても知る。</p> <p>PU3 ホームページで学校を紹介しよう</p> <p>St3 かんたんな表現で言いかえよう</p>	<p>Reading（復習）</p> <p>品物に不備があったので、交換を依頼する。</p> <p>分詞の後置修飾（現在分詞・過去分詞）を理解する。</p> <p>①I'm sitting next to the boy wearing a red cap.</p> <p>②This is a shirt made in Italy.</p> <p>ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活を英語で書く。英語での言い方を知らないものを、自分が知っている単語で表現する。</p>
	<p>5 The Story of Chocolate</p> <p>①対話：主格の関係代名詞 who</p> <p>②発表：主格の関係代名詞 which</p> <p>③発表：主格の関係代名詞 that</p> <p>健たちはグループ発表の題材にチョコレートを選ぶ。チョコレートの歴史やフェアトレードなどについて発表する。</p>	<p>関係代名詞（主格）who / which / that を理解する。</p> <p>①The man who has just run away.</p> <p>②A member of the cat family which lives in Africa and Asia.</p> <p>③It's a movie that has touched many people.</p>
後期	<p>St4 わかりやすい文章を考えよう</p> <p>WW2 動詞の使い分け</p> <p>6 The Great Pacific Garbage Patch</p> <p>説明文：目的格の関係代名詞 which</p> <p>説明文：目的格の関係代名詞 that</p> <p>説明文：目的格の関係代名詞の省略</p> <p>プラスチックごみの「大陸」とも言われる太平洋ごみベルトが環境に与えている影響と、その問題解決に挑んだオランダ人青年の取り組みについて読む。</p>	<p>つなぎことば、構成を意識して文章を読む。</p> <p>look, see, watch / hear, listen</p> <p>関係代名詞（目的格）which / that / 省略を理解する。</p> <p>①Here is a plan which my father made for you.</p> <p>②They are the cherry trees that Japan gave to Washington, D.C. in 1912.</p> <p>③The museum I like the best is near here.</p>
	<p>St5 ディスカッションをしよう</p> <p>OP8 あなたの町を世界に PR しよう</p> <p>地元のを外国の人に PR</p> <p>①モデルを確認する。</p> <p>②構想を練り、PR の台本を考える。</p> <p>③本番の練習、協働学習で助言。</p> <p>④発表、評価、振り返り。</p> <p>PU4 非常時のアナウンスを聞こう</p>	<p>無人島に持っていくものを議論する。</p> <p>（これまでの復習）</p> <p>デパート火災で避難経路を聞き取る。</p>
	<p>7 Is AI a Friend or an Enemy?</p> <p>①対話：もしだれかが～だったら…。</p> <p>②説明文：もしだれかが～したら…。</p> <p>③説明文：～だったらよいのに。</p> <p>ロボット掃除機、将棋プログラム「ポナンザ」など、飛躍的に進化を遂げている AI 技術のすぐれている点と、人間でないといけないことについて考える。</p> <p>R2 Malala's Voice for the Future</p>	<p>仮定法過去 / I wish + 主語 + 仮定法過去を理解する。</p> <p>①If I were you, I would ask someone to help.</p> <p>②If I had some money, I would buy some cakes.</p> <p>③I wish I had a camera with me.</p> <p>Reading（復習）</p>

SP 中学校の思い出を残そう	(これまでの復習)
WW3 オリンピック競技・パラリンピック競技	競技名を知る。
FR1 The Ig Nobel Prize	Reading (復習)
FR2 Library Lion	Reading (復習)

※時期はあくまで目安なので学校行事等の影響で前後することもあります。